

調査・研究委員会

委員長 梶山 孝治 副委員長 田中 良一 副委員長 中島 渉

1. 役割と基本活動方針

診療報酬における医療機器の適正評価などJIRAの戦略や諸活動の基礎となる独自の市場統計等の基礎データの収集を継続実施して、事業環境、事業形態の変化に合わせてそれを改善していくほか、画像医療システムの導入状況調査など会員各社に影響を与える諸事項の調査・研究を実施する。

2. 2019年度の主な活動計画と実績・成果

2.1 市場統計

(1) 新市場統計システム（JIRA-Stat）の稼働開始

JIRA市場統計を収集、管理、集計、公開しているJIRA市場統計システムは、2009年2月に稼働開始し、10年を越えていた。そのシステムの信頼性、継続性、セキュリティ、操作性等の改善を目指し、2018年2月に調査・研究委員会下に「JIRA市場統計システム改善WG」を設置、1年半のWG活動を経て、2019年10月から新システム（JIRA-Stat）を稼働させた。

(2) 市場統計の概要

調査対象：画像医療システムの生産高・輸出高・輸入高及び国内市場
調査品目：約100品目、調査間隔：月単位

(3) 統計参加企業への報告

月ごとの画像医療システムの生産・輸出・輸入・国内市場の金額を集計して、月・四半期・半年・年度・暦年ベースで市場統計データとして統計参加企業にWebシステムで遅滞なく、報告した。

(4) 一般会員への公開

一般会員には、2011年度から、JIRAホームページ上に「JIRA市場統計（一般会員向け）」の専用ページを設け、四半期・半年・年度・暦年ベースで「総括表」と「レビュー」の公開を開始し、2019年度も継続した。

(5) 市場統計の継続的な精度確保

各社の市場統計担当者向けのアンケートを実施し、明確化が必要な項目を把握した上で、JIRA-Statの説明も含め、2019年7月・8月に大阪を含む3回の説明会を実施した。事後のアンケートから各社の担当者が、市場統計の重要性を再認識されたことが分かった。さらに、JIRA-Statの初期稼働も大きなトラブルなく各社担当者が使用できた。

2.2 導入実態調査

(1) 調査の概要

全国の約1000の医療機関を対象に行った「画像医療システム等の導入状況と安全確保状況に関する調査」（導入実態調査と記す）にて、医療機関における画像医療システムの導入状況、安全点検・安全確保の実態を調査した。2019年度は、第17回目の調査となる。

(2) 調査報告の公開

調査報告書は関係省庁・学会・団体に配布し、その概要をJIRAホームページに掲載した。

(3) 調査報告の活用と成果

経済部会などと連携の上、関係団体とも協力し、保守点検実施による医療機器の安全確保の啓発活動を積極的に行った。

3. 2020年度の活動計画概要

2020年度は、JIRA市場統計システムのリプレースを円滑に実施し、Webを活用した入力・集計システム（JIRA-Stat）を用いたJIRA市場統計システムの円滑な運営と信頼性向上に向けた活動を継続すると共に、「画像医療システム等の導入状況及び安全性確保状況に関する調査（以下、導入実態調査と記す）」を継続し、第18回目として実施する。

3.1 市場統計

- (1) JIRA市場統計の精度確保を継続した上で、関係部会/委員会とともにJIRA会員に公開を継続する。
- (2) 継続性を確保しつつ、必要に応じて調査品目の分類等の再検討を関係部会/委員会とともに実施する。さらに、販売方法の多様化に合わせたJIRA市場統計の改良等の検討を実施する。
- (3) JIRA市場統計の継続した精度確保のために、市場統計システムのリプレースを円滑に実施し、効果的、効率的に信頼性のある統計の作成を継続する。
- (4) JIRA会員企業にさらに有用な方法で報告を実施する。

3.2 導入実態調査

- (1) 診療報酬改定や安全性確保などのJIRA内外の基礎データとするための導入実態調査を継続して実施する。
- (2) 調査項目は、導入状況、保守・安全確保状況、安全管理体制の調査を柱とする。
- (3) 調査報告書は、関係の省庁、学会、団体に配布すると共に、そのポイントはJIRAホームページを通じて広く公開し、経済部会、広報委員会などと連携の上で広報し、健全な産業の発展のための諸活動の基礎データとする。
- (4) 調査項目は、継続性を確保しつつ、JIRA内の関係部会/委員会と改善を検討する。

3.3 その他

国内外の動向を注視し、本会活動に有益な諸統計資料の調査研究などの活動を必要に応じて行う。

(参考) 市場統計より

表1 画像医療システム(生産高・輸出高・輸入高・国内市場)2019年度通期(4-3月)

単位:金額:百万円

品目	区分	生産(販売)高		輸出高		輸入高		国内市場			
		金額	前年比金額(%)	金額	前年比金額(%)	金額	前年比金額(%)	台数	前年比数量(%)	金額	前年比金額(%)
1. 診断用X線装置		148,185	112	62,446	102	21,305	98			107,044	115
システム		83,908	105	32,289	98	21,046	97	9,659	110	72,665	106
システム構成装置類		64,277	121	30,157	107	259	111			34,379	137
(システム内数)一般X線透視撮影装置		20,360	103	6,532	88	111	134	911	118	13,939	113
循環器用X線透視撮影装置		16,843	121	8,950	104	14,300	90	235	114	22,192	105
一般X線撮影装置		15,187	110	3,744	102	145	62	3,441	120	11,588	112
乳房用X線撮影装置		8,262	94	5,031	108	2,089	100	393	100	5,321	86
回診用X線撮影装置		6,047	116	3,482	94	77	330	494	115	2,642	172
歯科用X線装置		12,334	97	3,811	95	0	-	3,275	99	8,523	97
2. X線CT装置		89,259	109	60,377	112	14,107	94			42,989	100
システム		68,479	104	47,643	104	12,311	96	1,131	104	33,146	100
システム構成装置類		20,781	130	12,734	154	1,796	83			9,843	99
3. 診断用核医学装置		2,729	72	570	63	13,304	134			15,463	121
システム		1,083	75	189	96	12,795	133	135	91	13,689	126
システム構成装置類		1,647	70	381	54	509	157			1,774	90
(システム内数)PET関連		544	73	189	96	8,539	136	47	112	8,894	130
4. 診断用磁気共鳴装置		29,770	92	15,854	79	34,926	107			48,842	108
システム		28,987	93	15,292	79	31,753	105	507	109	45,448	108
システム構成装置類		783	66	562	70	3,173	126			3,395	117
5. 診断用画像処理システム		47,854	118	2,342	104	2,860	97			48,372	117
6. 関連用品		12,474	91	8,197	90	763	87			5,040	90
装置		7,417	87	5,416	88	6	123			2,008	84
器具		535	89	15	27	0	-			520	95
用品		4,522	99	2,766	98	756	86			2,513	95
7. 超音波画像診断装置		87,094	104	52,084	101	20,224	103			55,235	107
システム		60,110	102	32,664	99	19,283	101	14,014	128	46,729	105
システム構成装置類		26,984	109	19,419	106	941	137			8,506	120
8. 骨密度測定装置		826	77	0	0	1,350	159			2,176	115
9. その他の画像診断装置		229	74	11	8	0	-			218	127
診断用装置計		418,421	107	201,881	101	108,839	105			325,379	110
10. 治療用装置		17,337	85	0	0	12,013	98			29,350	90
システム		14,237	78	0	0	11,683	95	121	78	25,920	85
システム構成装置類等		3,100	136	0	0	329	33,898			3,430	150
合計		435,758	106	201,881	101	120,852	104			354,729	108

※国内市場=生産高-輸出高+輸入高

単位:億円

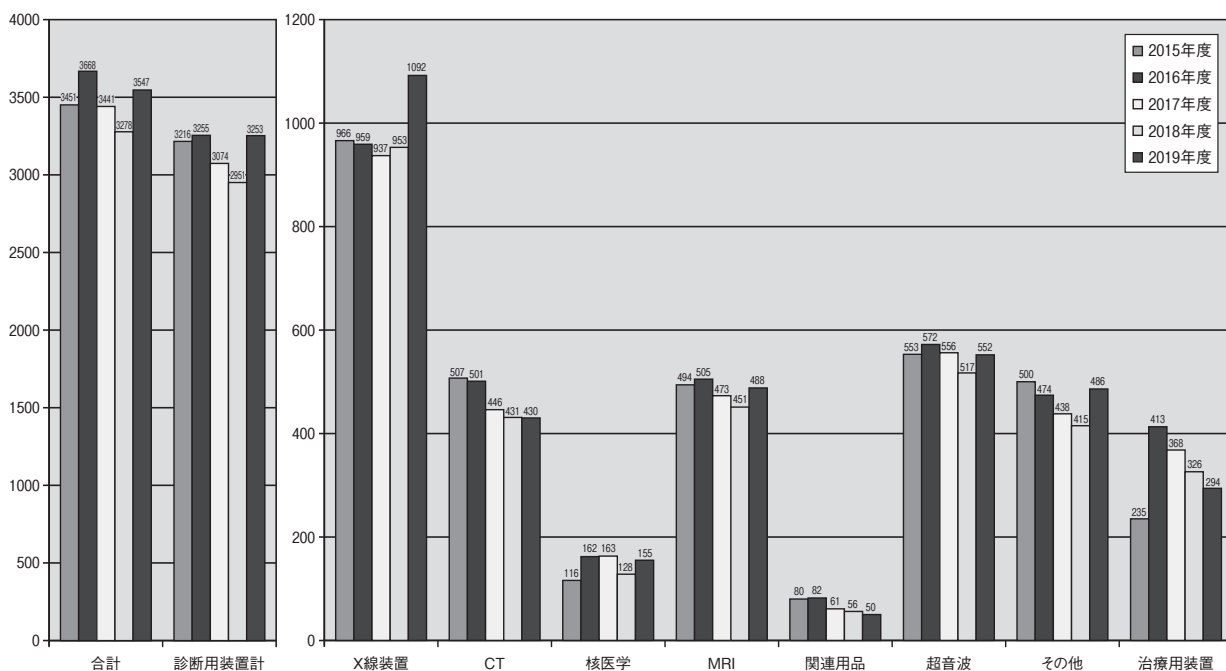


図1 主要装置 国内市場 2015年度~2019年度